

ひかしき 東木ひさよ



おれんじ通信 第35号

市議会議員4期目がスタートいたしました。
皆様のご期待にお応え出来るよう、全力で取り組んで参ります！今号では、医療費無償化の対象拡大、障がい者の親亡き後、農家の課題解決と地産地消の促進について、ご紹介いたします。



LINE

友達登録をよろしく
お願いいたします。



医療費無償化、(令和6年4月より) 18歳まで拡大が決定。



藤沢市公明党として30年にわたり推進してきた少児医療費の無償化がいよいよ18歳まで拡充されることが決定しました。拡充する意義と効果について、①「子育て世代の負担軽減」が本来の趣旨です。ケガが多かった運動部の方など、安心して医療を受けることが可能になります。②加えて、思春期ならではの悩みを抱え、心身のバランスを崩しやすい世代です。これまで敷居の高かった心療

内科や産婦人科など、気軽に利用できることを期待します。健康で充実した青春時代になるように支えて行きたいです。※手続きはすべて自己申請になります。高校を中退した方やすでに働いている方など、申請漏れが無いよう、要望しました。

18歳以下は全員無料に！

手続き漏れのないように

- ・ 来年4月以降に18歳以下の方
- ・ 高校を中退した方
- ・ お勤めの方

も対象です。



障がい者児者と介護する家族に安心を届ける取り組みを！

以前から「障がい児者の親亡き後」の施設整備に対する強い要望があります。介護する側の保護者が高齢になり在宅介護が出来なくなった時の不安は図りしれません。すべての人がいつまでも安心して暮らせる住まいと支援の環境整備が必要です。一方で責任主体である神奈川県は広大な県域での施設数と現時点での入所者数から神奈川県東部圏域での施設整備には消極的です。グループホームや短期入所も少なく、現時点でも多くの困難を抱えています。地域社会全体で課題を共有し、一つ一つの解決の道筋を探り、施設整備を実現させていきたいと思ひます。



東木ひさよの4つの提案。

- ◆ 親亡き後の重症心身障がい者の暮らしや住まいの場となる施設の整備促進を！
- ◆ 介護者がいつでも安心して利用できる家族支援の場づくりを実現できるよう対応を強く要望。
- ◆ 「日中サービス支援型グループホーム」(市内7か所)に重度障がい者を受け入れること。
- ◆ 在宅介護者の一時休息を促すため、重症心身障がい者の短期入所先となる施設の早急な確保を！



ご家族に障がいをお持ちの方
の相談窓口一覧はこちら



 藤沢市
障がいに関する相談窓口

農家が抱える課題解決へ、粘り強く取り組みます！

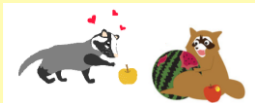
市内には557軒の農家があります。多くの困難と闘いながら、質の高い農産物を栽培するため、手間ひま惜しまず働いてくださっています。1番大きな困難は法律上の規制です。ビニールハウスの設置規制について独自の基準の制定を求め交渉してきたところ、今定例会で、藤沢市として柔軟に前向きに検討する旨の画期的な回答を得ました。農家の皆様の課題解決へ一歩ずつ進めて参ります。

市内の農家が抱える課題。

①天候に左右される。 自然災害による損害。



②アライグマ・ハクビシン などによる鳥獣被害。



③飼料・肥料の高騰。 燃料費の高騰。

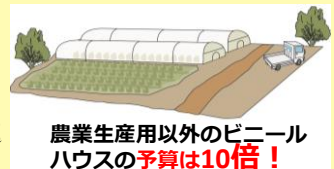


④規制による困難。

例)農産物栽培用のビニールハウスは建築物として取り扱わないため、低価格。

重機類、肥料の置き場・ビニールの一時保管場所・野菜類を袋詰め、ねぎの皮を剥ぐ出荷調整施設のビニール設置は建築物扱いとされる。

→農産物生産用であれば、**予算200万円**で済むはずが、**後者の施設へのビニール設置には、約2000万円が必要。**



農業生産用以外のビニールハウスの**予算は10倍！**

※野菜の価格を上げるのは難しい。 ※パート勤務者の最低賃金は高騰。
※結果的に売上高は毎年伸びているが、収益は伸びない。

東木ひさよの4つの提案。

◆出荷調整施設のビニールハウスを建築物とみなさない判断を！

◆市役所広場で定期開催のマルシェ・「元氣バザール」のような宣伝・販売の場の拡大を！

◆鳥獣被害や飼料価格・電気代等の高騰を踏まえ、安定的な財源確保と営農支援を！

◆「少年の森」周辺に、民間事業者とも連携した農業生産品販売施設の開設し、循環型農業の促進を！

おいしい藤沢産
見て楽しい！食べて楽しい！キュンとする藤沢産♡



市内の直売所の詳細や藤沢産の味を楽しめるレストランの情報はこちら



東木ひさよ コラム ～みんなの笑顔のために～(1)

先日、ある少年野球チームの練習を見学。これは地元の大学の野球部の方々が、地域の子供達に野球の指導を希望され、ご縁をつないだことがきっかけです。わかりやすく熱心な指導に参加した少年たちはいきいきはつらつ。記念写真の笑顔は充実感で輝いていました。チーム関係者や保護者曰く、「こんな嬉しそうな笑顔は見たことがない！」と。指導関係者もこれまでの指導の在り方を顧みて改善を志しているとのこと。関わる大人側の柔軟性が大切ですね。少年たちの今後の成長が楽しみです。以前訪問した中学校で「子どもたちを笑顔にしたい！」と熱く語る学校長。一方で出会う生徒全員が直立不動で挨拶する姿に、「あれ？委縮させてないかな？」と気になりました。子ども達のがのびのび過ごし笑顔溢れる地域を皆さんで創っていききたいです。



東木(ひがしき)ひさよプロフィール

藤沢市議会議員4期。北海道旭川市出身、北海道立旭川東高、明治学院大学卒。厚生環境・子ども文教常任委員会委員長、建設経済・総務常任委員会副委員長を歴任。令和5年度子ども文教常任委員会副委員長、行政改革特別委員会委員長、補正予算常任委員会委員。



LINE



Facebook

東木ひさよ
公式サイト



&



<http://higashiki.com>

政策の詳細はこちら➡



TEL

&

FAX

(0466)88-1125



hisayo2011@yahoo.co.jp